野崎造園新聞

2024年4～5月号　第110号

発行所　株式会社　野崎造園（本社）

〒203-0044　東京都東久留米市柳窪 4-14-22

Tel 042-471-4635〈代〉　Fax 042-471-4856

https://www.nozaki-zoen.co.jp

練馬営業所
練馬区上石神井 4-27-15
レジオンス上石神井 210
Tel　03-5927-0339

さいたま営業所
埼玉県さいたま市桜区
下大久保 1127-1-204
Tel　048-851-6418

～今月の花木～

ツツジ類　　ツツジ科

ミツバ、キリシマ、クルメ、オオムラサキ、ヒラド、ヤマ、ドウダン、サツキツツジ…
種類が多いなぁ～（写真はヤマツツジ）

身近な植栽には、景観の向上や真夏に緑陰をもたらす効果もある（表参道のケヤキ街路樹）

植栽管理

春の芽吹きを迎え、多くの植物が生長し始める季節の訪れと共に、植物に関わる手入れをする、植栽管理作業が多くなる時期に入ります。

某中古車販売店が勝手に街路樹を伐採した事件が記憶に新しいのですが、仕事や生活をする上で、身近な植栽が邪魔だ、要らない、と感じる時もあるかと思います。また、以前は気力・体力・財力もあり、植栽の手入れをしていたものが出来なくなり、手に余るようになる事もあるかと思います。

見方によっては「お荷物」にもなり兼ねない身近な植栽ですが、私たちの生活に様々な恩恵と価値を与えています。

身近に緑がある事で心理的に安らぎをもたらす、緑のある景観による資産価値の向上（来客数や人々の関心の増加）、CO2の吸収・固定と酸素の放出、生物多様性の保全のほか、都市から発生する熱（ヒートアイランド現象）の抑制にもつながります。

直射日光のあたる真夏の道路面の温度は50℃を超えますが、木陰の下では30℃程度であり、人々は木陰を好んで歩きます。また、コンクリートのビルなども熱をため込み、夜間の温度も中々下がりません。遮熱性舗装や「打ち水」のような対策もありますが、それらより既存木の樹冠拡大による木陰や、緑に覆われている地面や建物を増やすことはヒートアイランドなど生活環境改善にも効果があります。

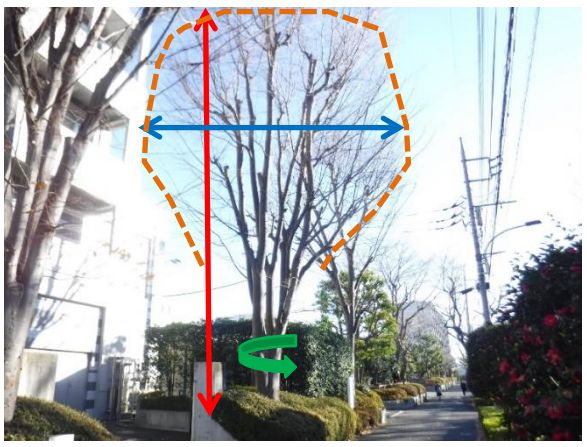
単純に緑を増やせれば良いのですが、植栽は生長し、状態も日々変化するため、身近な緑に関しては人が管理をしなければ安全面や景観の低下、近所迷惑にもつながります。

植栽管理　Q&A　時おり聞かれることなど…

Q	A
植栽管理作業は、いつ、何をすれば、いいですか。	裏面の表を参考にしてください。作業内容により、頻度や時期は異なります。
1本切ると、おいくらですか。	木の種類や大きさ、太さなど規格より単価が決められている公の仕事もありますが、規格以外にも作業のし易さ、全体の作業量により大きく異なり、一概に言えません。
このサクラは寿命でしょうか。（衰弱や枯死したソメイヨシノを前にしたときなど）	ソメイヨシノは比較的早く生長・巨木化する半面、病害虫に弱い特徴があり、樹齢60年程度で調子が悪い木が多いです。管理がよければ100年以上生きる個体もあります。
大きくならない木は、ありますか。	あります。沢山あり、書き切れません。
ローメンテナンス（手間のかからない）植栽は、ありますか。	比較的生長が遅い（大きくなりにくい）植物で構成された植栽環境などがありますが、変化に乏しく飽きる可能性があります。
なぜ、倒木するのですか。	木自体が受けるストレス（風や大雪など）により、その木が自立できる限度を超えたときに倒れます。また、根が腐ったり発達していない木は倒木するリスクが高まります。
倒れやすい木（樹種）は、ありますか。	台風や大雪後の経験では、長期間無剪定で枝葉の茂りすぎたヒマラヤスギとポプラが多い印象です。同じくらい大木になるメタセコイアは倒れにくい印象です。 サクラ（ソメイヨシノ）やケヤキも、やや多い傾向があります。

植栽管理とは、先ず見ることから

剪定や草刈など、仕事の依頼を頂く際、見積をするため現地確認をするときがあります。剪定を例に、以下のような箇所を見て進めています。



ケヤキ　基本剪定　作業前
※写真内の線の色は、右記説明文の色

ケヤキ　基本剪定　作業後

写真のケヤキは3年ぶりに冬期に剪定したものです。高木は2～3年に1回程度でも大丈夫な木が多いのですが、低木や生垣は年1～2回、芝生や草地などは生長が早いため、少なくても年3回以上の管理作業が望ましいです。

☜ケヤキの剪定例

①依頼者の意向、過去の履歴

②対象木の樹種
（常緑樹、落葉樹、針葉樹の判別）

③形状寸法の計測・確認
（単位はm、幹回りはcmの場合あり）

樹高（H） 木の高さ

枝張り（W） 木の幅

幹回り（C） 地上から1.2mの高さの幹の周囲長を指す。公の積算などで幹回り何cm～何cmの単価はいくらなど基準となる。地上1.2mの位置に2本以上幹がある場合、その周囲長の総和に×0.7をした数値を用いる。

樹冠 木の高さと幅のアウトラインのこと。樹冠拡大や縮小したいなどの目安にもなる。

④周辺の状況確認…通学路や交通規制の有無、電線への接触やその他支障のある物や事など

⑤作業車両の乗り入れ可否、作業方法の検討、発生材の予測

見積書、提案書の作成→　提出

植栽管理の年間作業表

作業時期は一般的な目安です。植栽の種類や気候、目的により変わりますので、詳しくはお問い合わせ下さい。

適期 ●━━━● 多少よい時期 ●┅┅┅●

作業内容＼時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
樹木管理												
常緑樹剪定	常緑樹は新芽が落ち着いてからがよい								常緑樹は寒い時期はよくない			
落葉樹剪定	花木は花芽形成前に剪定			夏期剪定（軽剪定）			落葉前だと落葉清掃が楽/冬期剪定（基本剪定）					
針葉樹剪定			針葉樹は時期によらず強剪定に弱いものが多い									
植込みや生垣刈込			花木は花芽形成前に剪定				花芽形成後の花木は、とびを取る程度に軽く刈込む					
植込み地除草				最低年2～3回は行いたい								
施　肥	春の芽だし肥や花後のお礼肥（速効性肥料）								寒肥は特に有効（遅効性肥料）			
病害虫防除	チャドクガ(ツバキ類)注意				サクラ、ツバキ類注意			冬季にはマシン油乳剤、石灰硫黄合剤が散布できる				
マツ手入れ	みどり摘み							もみ上げ（古葉落とし）、透かし剪定				
マツ枯れ防止	枯マツは4月までに伐採が特に有効							冬期はマツ枯れ予防の殺線虫剤の樹幹注入時期				
ナラ枯れ防止	枯死木は春先のキクイムシ成虫脱出前に伐採が良い		殺菌剤の注入や資材被覆などの処置						枯死木は伐採や、くん蒸等処理			
芝生管理	★冬に休眠（冬枯れ）する、野芝や高麗芝などの日本芝の場合											
芝刈り		月1回		月2回		月1回（11月で刈り止め）						
除草剤散布						冬雑草発芽前						夏雑草発芽前
施　肥												
手取り除草										冬雑草は目立つので取りやすい		
芝張り(補植含む)												
裸地・そのた管理												
草刈り・除草			最低年3～4回は行いたい					11～12月で刈り止め				
落ち葉はき	新芽が出た後の常緑樹（クスノキ等）							落葉樹				
樹木点検	枯枝や危険木の早期発見			台風被害の予想点検		台風後の被害点検				大雪後の被害点検		

草花との出会い

春に散歩や旅をしていると心惹かれる野生の草花に出会うことがあります。

歩いているついでに、目に留まった草花に足を止め、写真を撮り、分からなければ調べたくなります。

お花見の名所などへ、目的をもって見に行くのも楽しいですが、草花との偶然の出会いに嬉しさを感じる時があります。

道の両脇、ヒメオドリコソウ群落（秋田）

キンラン（東京）

ヒトリシズカ（長野）

～当社では障害者、親と暮らすことが出来ない子供たちの施設（社会福祉法人）に皆様から頂いた書類の使用済み切手等を使い、支援活動をしています～